

2024年5月15日

株式会社ADEKA

ADEKA KOREA R&D CENTER 開所式を開催

～延床面積7倍の施設に拡大移転、先端半導体の成膜・評価プロセス体制を強化～

株式会社ADEKA（代表取締役社長兼社長執行役員：城詰 秀尊、本社：東京都荒川区）の連結子会社であるADEKA KOREA CORPORATIONは、このほど、R&D CENTERの拡大移転を完了し、開所式を行いましたのでお知らせいたします。

半導体の技術革新が加速的に進化するなかで、当社グループの強みである半導体メーカーと同じレベルの成膜評価と同じスピードでの開発力を一層強化するべく、開所したADEKA KOREA R&D CENTER（韓国・京畿道華城市）は、延床面積が従来比7倍の規模の施設を取得し設備を整えてまいりました。また、従来比2倍となるクリーンルームには、ALD成膜・評価装置の設置台数を拡充し、最先端の半導体成膜材料における評価・分析のスペシャリティとして機能します。加えて、2030年までに装置と人員を倍増させる計画です。

なお、ADEKAグループにおける新規半導体材料の研究開発は、引き続き、日本の尾久中央開発研究所（東京都荒川区）で行います。2026年初頭には、久喜地区開発研究所（埼玉県久喜市）内に新研究棟を建設・移転予定であり、当社グループの主力製品である半導体メモリ、ロジック半導体の前工程向け材料のシェア拡大はもとより、後工程材料へと領域拡大を目指します。

ADEKAグループは、世界各国の主要な半導体製造エリアにおいて強固な体制を構築することで、世界トップの半導体材料メーカーを目指してまいります。



▲ ADEKA KOREA CORPORATION R&D CENTER 外観

〈次ページに続く〉

■ 概要

所在地	ADEKA KOREA CORPORATION R&D CENTER (韓国・京畿道華城市)
投資金額	約 13 億円
建屋・主な施設	地上 4 階建 鉄筋 延床面積：5,322m ² (移転前の 7 倍) 実験室、クリーンルーム、事務室・会議室、保管倉庫 他



▲ ADEKA KOREA CORPORATION R&D CENTER 開所式の様子 (2024 年 3 月 29 日開催)

補足：ADEKA 情報・電子化学品事業について

半導体分野やディスプレイ分野で高度 ICT 社会の発展に欠かせない先端製品を数多く提供しており、先端半導体メモリ向け高誘電材料「アデカオルセラ」シリーズは世界 No.1 シェア^{※1}を有しています。2024 年 4 月からスタートした ADEKA グループ中期経営計画『ADX 2026』(2024-2026 年度)では、半導体材料を主とした当事業の拡大により、“稼ぐ力の強化”を図ります。

『ADX 2026』期間中の 3 カ年における設備投資は、総額 750 億円のうち情報・電子化学品事業では 158 億円、研究開発投資^{※2}は情報・電子化学品事業を中心に 197 億円を投じる計画です。

【『ADX 2026』2026 年度 業績目標】

	情報・電子化学品	全社トータル
売上高	626 億円	5,000 億円
営業利益	153 億円	530 億円
営業利益率	24.4%	10.6%

※1 富士キメラ総研「2023 年 半導体材料市場の現状と将来展望」より。

※2 久喜地区開発研究所の新研究棟建設費用(約 100 億円)を含む。

以上

■ 本リリースについてのお問い合わせ先

株式会社 ADEKA 法務・広報部 総務・広報グループ

Tel:03-4455-2803/E-mail: somu@adeka.co.jp